令和 3 年度事業評価シート

PLAN(計画)	<u>.</u>	自己	評価				事務事 業番号	77
担当	課	経営デザイン	ン課		担当課	長	中原 三	千代
事業担	当 者	亀井 隆行	- 亀井 隆行			五者	藤野 孝	_
事 業 区		継続事業			事務事業評価	の履歴		無
事 務 事 名	業	公会計整備	委託事業					
予 算 科		2 款	1 項	5 目				
予 算 事 名		財政一般管	政一般管理費					
	名)	効率的で健	全な行財政	運営の推進				
事業の格	.—	自 治	事 務					
法 令 根 等	拠	地方公共団 務省)	体における	行政改革の]	更なる推進のため	めの指金	†(平成18	年8月31日総 ————
事 業 の 象	対	町の全会計	丁の全会計の決算					
事 業 の 的) 目	平成19年10月総務省通知により平成22年度決算から発生主義の活用、複式簿記の考え方に準じた財務4表(貸借対照表など)を作成整備することを目的としている。						
実施期間	開始年度	平 成	29	年度から				
7 NE 701 IN	終了年度	令 和		年度まで				
事業の	内容	(4表)を作成	する。		の情報を反映し ⁻	て町の全	全会計の選	基結財務諸表
目的達成の) 指標	公会計改革区 分 年 度		諸表(4表)の 2 年度	作成 3 年度	4	年度	5年度
(成果指標	!)	日 標 実 績	学位 % %	100	100		100	100
指標設定の	考え方		一部事務組行	<u>100</u> 合等の財務	100	て作成を	行う、連絡	吉財務諸表(4
一部事務組合によっては、財務諸表を作成していない一部事務組 ての一部事務組合の財務諸表を反映できない。 計画時の懸案事項 また、職員への財務諸表の説明や活用方法について研修を行い 階で財務諸表を基に検討されるよう指導を行う。								
計画時の懸案事項	- [への対応	一部事務組 職員向けの	合へ財務諸 財務諸表の					

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 196円 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

		小 只	担倒には国具・宗		
項		2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	5 年度予算
	①人工数	0.08	0.05	0.05	0.05
事務量	②人件費単価	7,652	7,179	7,898	7,898
事物里	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	612	358	394	394
	直接事業費	1309	1454	1474	1474
事業費	人 件 費	612	358	394	394
	合 計	1,921	1,812	1,868	1,868
	国庫支出金				
	県 支 出 金				
財源内訳	地 方 債				
别派内凯	その他				
	一般財源	1,921	1,812	1,868	
	合 計	1,921	1,812	1,868	1,868

事業費計画

(千円)

										\
区分/年度	2	年 度	3	年 度	4	年 度	5 :	年 度	6	年 度
目 標		1,309		1,454		1,474		1,474		1,474
実 績		1,243		1,396						

事業活動の実績(活動指標)※ トローは日標値な 下のには実績値なるれぞれ記入してください

于不行动的人模(行)		Х	上段には目標	<u>値を、下段には実</u>	<u> </u>	入してください。
項目	単位	2	年度	3 年度	4 年度	5 年度
支出区分の分析	%		100	100	100	100
文山区力の力制	70		100	100		
研修会の実施			0	1	1	1
可修会の关心	可		0	1		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 189円 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項			3 年度予算	3 年度決算	4 年度予算
	① 人 エ 数	0.08	0.05	0.05	0.05
事務量	② 人 件 費 単 価	7,652	7,179	7,022	7,898
事物里	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×2-3)	612	358	351	394
	直接事業費	1243	1454	1396	1474
事業費	人 件 費	612	358	351	394
	合 計	1,855	1,812	1,747	1,868
	国庫支出金	0	0	0	0
	県 支 出 金	0	0	0	0
財源内訳	地 方 債	0	0	0	0
以水内引	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,855	1,812	1,747	1,868
	合 計	1,855	1,812	1,747	1,868

-		/#	-	$^{-}$
=	旃	作芸	_	4. 7.
$\overline{}$	/ITIJ	пш	417.5	N/XK

CHECK(評価) No.3

自己評価	評価者	亀井	隆行		皆評価で評点を付 大 ◆→ 小 1	けます。 ↓	
1. そもそも必	要な事業	か?			-	評点	判定
□ 町民の二 □ 緊急性か □ 実施しな □ 町民生活	-一ズが高 「高く、即日 ければ町 5や町の 1	らい。ニーズか 時に実施しな 日生活に及ら イメージアップ	、増加傾向でなければならな ければならな ぎす影響が大 の向上に寄与	い。 きい。		3 4 4 3	В
2. 町が実施							
				られている。 <mark>※該当する場</mark> 1 引等では実施できない。	合は左の口にチュ	<u>ックしてく</u> 4	ださい。
□ 民間等な	国・県で	実施するより	も効果的であ 事業を実施し	る 。		4 2	Α
3. 実施内容	は適切か	?					
①有効性							
□ 事業の手	≒法・活動	内容は適切で	である。	見するために有効な事業である 		4	В
	て 果達 成 り	た況や進捗状	:況は順調であ	5්ර		4	
②効率性 □ 事業費に	- 目	:成果を上げて	アハス			4	
□ 外部委託	£等(指定	管理者を含む	こ)による効率	化が図られている。 スト削減を図っている。		5 4	Α
③公平性·說		<u>-0 - 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7</u>	E14.0 0.10 3				
□ 事業費に	占める一	般財源の額	は妥当である		当でない。)	5 3	Α
ホームへ	ーンやム	. 報を活用し、	便極的に消ぎ	段を公開している。		5	
全後(の方向性		=目標達成で				
				きていないもの		しの具体	
				免し、更なる事業推進を図る) ミま事業を進める)	□事第□受益	返方法のコ 美の効率化 益者負担の 美縮小 ○他	<u>.</u>
4. 自己評価(の理由(必	›要性、有効 <u>性</u>	生、効率性、설	、平性・透明性の観点から)			
村とも比較す を要するため	ることがで 事業であ	でき、今後の町 るため、外部	T政策を検討 に委託するこ	に基づき作成を行っている。 するに当たり有効な情報である とで抑制している。作成した財 比較できるように図っている。	る。作成には多くの	の時間と人	的コスト
5. 成果実績(の評価(今	後の方向性	等について具	体的に)と課題認識			
	修を行い す	見状を知る機		った。現在の久山町の資産・ 令和4年度では一般職員向け			

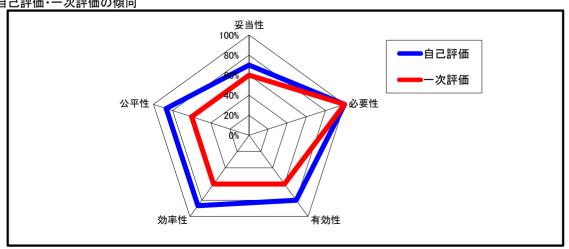
CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	藤野	孝一		階評価で評点 ◆→ 小 1	を付けます ↓	- 0
1. そもそも必	要な事業	か?			<u> </u>	評点	判定
□ 町民の= □ 緊急性か □ 実施しな	- 一ズが高 [・] 高く、即 ければ町	い。ニーズが 寺に実施しなり 民生活に及ほ メージアップ(ナればならな! ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	い。 きい。		3 3 3 3	С
2. 町が実施			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	, , ,			
		ることが法令	等により定め	られている。 ※該当する場合は	左の口にチェ	ックしてくナ	ごさい 。
□ 民間等な	□・県で	ハは政策判断 実施するよりも や県で類似事	効果的であ			3 3 3	Α
3. 実施内容							
①有効性							
□ 事業の手	≐法•活動	本計画の将 内容は適切で 況や進捗状	ある。	まするために有効な事業である。 ある。		3 3	С
□ 事業費に □ 外部委託 □ 実施方法	£等(指定 よの工夫に)による効率	化が図られている。 スト削減を図っている。		3 3 3	С
□ 事業費に	負担につい こ占めるー	般財源の額は	は妥当である	受益者負担を求めることが適当で 。 最を公開している。	ない。)	3 3 3	С
□ A重点化		C・D: り進んでおり	、コストを拡充	きたもの きていないもの でし、更なる事業推進を図る) きま事業を進める)	□ 実施□ 実施□ 事業□ 受益	しの具体的 通方法の工 きの効率化 を者負担の き縮小)他	.夫
一次評価の理	里由(今後	の方向性等に	ついて具体的	的に)			
自己評価のと の検討をしな				通知によるので必要なものとなって	います。今後	はどう活用	するか

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価·改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照 No.5 らし合わせ評価を行う。

二岁	マ評価	評価者	中原	三千代						
	A以下の	点について	て良好と評価	近、コストを打	広充し更なる	事業推進を図	る。			
~	B計画ど	おり、現状	のまま事業	を継続する。						
				そ行ったが、一 考える必要が		を継続し、職」	員の理解を			
	C事業継	続と判断す	するが、以下	の課題を解え	失するため 計	-画の見直しを	·行う。			
	D事業廃.	止と判断し	<u>、、外部評価</u>	委員会に諮る	ることとする。				外部評価委	음소
									で評価する。	
									月 開催予定	日
	E事業の	目的を達成	成し、事業完	了したと判断	iする。			1	1717 E 1 7C	
	一次評価	iは以下の	点で問題が	ある又は判断	断されるため	、一次評価の	見直しを求め	うる 。	かまで生	ΔП
									一次評価を 直し、	_
									月 までに提出す と。	するこ
								Ī	□ 評価終	7
									□ 評価終	」 価へ

ACTION(評価·改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

外部評価	<u>i</u>			
	今後の方		を成できたもの を成できていないもの	C見直しの具体的内容
		画どおり進んでおり、コストを: 計画どおり進んでおり、現状の	拡充し、更なる事業推進を図る	
in the second se	平 西	外部評価委員の意見		
経営者会	· 議			
	営者評価	町長	1	
4:2				
	今後の方		ii 成できたもの ii 成できていないもの	C見直しの具体的内容
	B現状維持(記	■どおり進んでおり、コストをき 計画どおり進んでおり、現状の	拡充し、更なる事業推進を図る	□ 実施方法の工夫 □ 実施方法の工夫 □ 事業の効率化 □ 受益者負担の適正化 □ 事業縮小 □ その他
青旬	平 西	経営者会議の結果		
令	和 5 年度予算	「要求事項(今後の取り組み 「なななななななななななななななななななななななななななななななななななな	.)	